

～ 今月の図書案内 ～

今年の梅の開花は2週間も早いそうです。春はもうすぐですね。図書館では「バレンタインデー」「スイーツ特集」「左利きグッズの日」「Book of the year 2023」の展示を行っています。この機会に、今まで読んだことになった一冊にトライしてみたいはいかがでしょうか。

★今月の新着おすすめ本

「八月の御所グラウンド」 万城目 学

「十二月の都大路上下（カケル）」女子全国高校駅伝で、都大路にピンチランナーとして挑む、絶望的に方向音痴な女子高校生は新撰組と走る?! 「八月の御所グラウンド」借金のカタに早朝の御所Gで、謎の草野球大会に参加するハメになった大学生は、死んだはずの名投手達とプレー?! 京都で起きた奇跡的な不思議な出会いを綴った、じんわり優しく切ないファンタジー。第170回直木賞受賞作。

「工務店の日報」 福田 雄一

著者の友人が営む工務店の日常を描いた漫画。現場あるあるや近所づきあい、現場用語を知らない新人の失敗など、どこかほほえましい話が多く収録されています。また「ウォーターポンププライヤー」という道具が、地方によって「カラス」「カニ」「ワニ」など呼び方が違うなど、豆知識も楽しめる、じっくりと読みたくなる本です。

「ココロの友だちにきいてみる」 細川 貂々

生きづらさを失くすことは難しいが、今より少しラクにするコツがある。その1つが、心の友だちに気持ちを吐き出す「友だち日記」。1日ひとつ幸せを見つけて書きとめる「幸せ探し日記」を1年間続けた作者は、新しい心の友だちと仲良くなって、友だち日記を始める。自分と仲よくなる・人とうまくつきあうためのヒント満載のほっこり癒される日記エッセイ。

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

開館時間 8:35～16:45（色つきの日は閉館日 予定は変更することもあります）

★図書館からのおすすめ本

「ラウリ・クースクを探して」 宮内 悠介

エストニアで生まれたラウリ・クースクはプログラミングの才能がある少年だった。ラウリの足跡をたどる記者の視点から、歴史に翻弄された彼の人生を描く。はたして記者はなぜ、偉人というわけでもないラウリを調べるのか？ ラウリの人生の苦しさや悲しさは垣間見れるものの、温かい読後感に包まれます。第170回直木賞ノミネート作品。

「私たちの世代は」 瀬尾 まいこ

コロナ禍を経て、小学3年生だった少女、冴と心晴のそれぞれの15年間の青春が描かれた作品。家庭環境や学校生活、歩んできた道のりは全く異なるが、就職活動で2人の人生が交差する。不自由を余儀なくされ、新しい日常の中で悩み苦しみながらも、一日一日を大切に生きていた彼女たちの姿や周りの人たちの優しさにつれ、元気をもらえる一冊。

「江戸のお勘定」 大石 学 監修

江戸時代の生活や娯楽にはお金がいくら位かかったのか？ 本書では、当時の通貨の一文を30円と考えて、物の値段を説明しています。卵は1個600円、寿司は1つ120円、浮世絵は1枚480円など、現在とは値段が異なるものが多くあり驚きます。当時の時代背景も解説しているので、お金を通して江戸時代を学べます。